

## 令和元年 9 月定例記者会見及び 8 月月例記者会見

### 1. 9 月定例記者会見

#### 【 説 明 】

#### 〔9 月議会案件〕

**市長** 令和元年度 9 月の第 5 回定例会に提出する案件の内容ですが、議案等件数が 14 件で、補正予算 3 件、条例 8 件、市道の認定が 1 件、人事案件が 2 件となっています。人事案件の 2 件は、生駒市法令遵守委員会委員の委員、生駒市病院事業推進委員会の委員です。

補正予算では、住民基本台帳のシステム改修で、国の動きでもありますが、新たに旧姓を併記することが可能になるよう、システムを改修する予算を計上しています。それ以外は、当初予算で財政が緊縮しており、抑えていたものの中で状況が厳しいところに予算をつけたものです。

条例では、これも国全体の動きでもありますが、会計年度任用職員の制度が出来ることに伴い、地方公務員法、地方自治法が改正されますので、生駒市でも関連する条例を改正し、新たに条例を作るものです。

会計年度任用職員とは、一会計年度を超えない範囲で任用される一般職非常勤職員のことで、フルタイムとパートタイムがあります。臨時職員でも、一般職員と同等の仕事をしている者には同じ待遇にするとということ、ボーナスも含めてきちんと対応するということ、国でも制度改正をし、各自治体での制度、運用の改正が行われるということです。

なお、それ以外の条例改正につきましては、国の改正に伴うものでございます。

#### 【 質 疑 応 答 】

なし

### 2. 8 月月例記者会見

#### 【 説 明 】

#### 〔はじめたくなる、7日間。「スタイリング・ウィーク」を開催〕

**市長** ライフスタイルの選択肢とまちの魅力を増やす、「スタイリング・ウィーク」ですが、内容が盛り沢山となっており、生駒市らしい取り組みとなっております。10 月 16 日から 26 日までの 11 日間に 7 つのセミナーを設けます。「人生 100 年時代」を豊かに生きるということで、生駒市は単なるベッドタウンを卒業し、いろんな年代層の多様な生き方や働き方、多様な地域への関わり方について、先駆的に活動されている方々をお招きして、生駒らしい場所で、集中的にセミナーをします。

具体的には、1 つ目は、築 50 年の民家をリノベーションして暮らす小野さんとその設計に携わった岩城さんが、空き家をリノベーションしながら生駒市らしい住み方をしていくという話をして頂きます。2 つ目ですが、生駒市は既に「AsMama（アズママ）」と全国で初めて協定を結んでおり、現在も AsMama の子育てシェアは一定数利用されておりますが、AsMama を利用して近くの方と子どもの預かりをシェアしたり、AsMama でそういう方を繋げていったりすることを仕事とする認定サポーターについて話してもらいます。3 つ目は農業です。生駒市でも少しずつ専業農家が増えてきてお

りますが、その一人でもあります、「ひらひら農園」の平沢さんに生駒市で就農を考える方などに、農業で収益を上げる方法など、お話をして頂きます。4つ目は、つくりおきレシピということで、先日協定を結んだ㈱タスカジとのコラボですが、タスカジさんはいろんな本も出しておられ、そのノウハウを紹介して頂きながら、タスカジのサービスの紹介や家事を助ける仕事をしたい人などへの説明もしてもらいます。5つ目は、尾崎えり子さんに女性の活躍ということで、女性に焦点を絞って、家庭と仕事、地域との関わり方などのお話をして頂きます。6つ目が、生駒市で鹿音（かのん）というゲストハウスを経営しておられる太田奈美さんに家族との関係も大切にしつつ、地域で仕事を行っていくことについての話をして頂きます。今回はゲストハウスだけでなく、空き家の民泊など、女性や退職された方が関心のある話であると思います。最後は、グランドレベルさんです。生駒市はワークライフ・コミュニティ・バランスと言っていますが、今後は個人のプライベートが地域と密接に関係し、パブリックとプライベートの活性化が図られるまちづくりを目指しており、まさにそういうお話をして頂きます。

なお、詳しくは各担当課に問い合わせてください。こういう取り組みをすることで、市内にお住いの方に多様な暮らし方や地域との関わりをもっと持って頂けるようにということはもちろんですが、こういう取り組みをしている自治体は全国的に見てもないと思いますので、周辺自治体にも発信して、市外の方も生駒市に来て頂いて、生駒市に住めばこんな素敵な場所があるとか、このように住めるということが分かって頂く貴重な機会であると思っています。

#### 【教育委員会委員の候補者を公募】

**市長** 教育委員会委員の公募です。生駒市では、4年前に8人の教育委員に定数を倍増しておりますが、その内2人を市民で子どもがいる保護者の方から公募することにしており、今回その内1名の方を公募したいと考えております。委員にはいろんな専門の方や校長、園長の経験者等もおられますが、子を持つ親の視点から生駒市の教育行政にご意見を頂き、また仕事や地域での生活を通じて、生涯学習等を含めた教育全般にご意見を頂くため、募集したいと思っております。広報等にも出しますが、申込みは9月10日から9月30日で、論文と面接で採用を決定させていただきます。

#### 【「1day インターンシップ」を開催】

**市長** 当市では、採用の取り組みの一環といたしまして、1日だけのインターンシップをしております。今回で3回目となりますが、人気で、今年も全国から214名もの応募を頂きましたが、その内42名に参加して頂くことになりました。今年が目玉としましては、学生がグループに分かれて、カメラの撮影の仕方や文章を書く訓練をしてもらい、参加者が生駒市で働く職員に業務内容や面白さなどをインタビューして記事を作成します。それを就職情報サイトのリクナビの生駒市のページに掲載をしてもらうことになっています。リクルートによりますと全国的にもほとんどこういった事例はないということです。採用を希望する方が彼らの目線で記事を作るということで面白いと思います。また、その他若手職員とのランチもあり、私も挨拶に行きたいと思っております。生駒市のことをよく分かって頂き、生駒市を担う職員がここから出てくれればと思います。

#### 【「ユニバーサルキャンプ in 生駒 2019」を開催】

**市長** 毎年夏休みに開催しておりますが、今年は9月に開催します。基本的なことは例年どおり

ですが、今年は参加者 60 名の中で障がいをお持ちの方が 21 名と多くなっております。障がい者が多いということで、ボランティアや主催者側、参加者もどういうふうにしていくか、障がいのある方のお世話をすることだけではなく、障がい者の方もキャンプの中でいかに活躍して頂けるか、それがユニバーサルということだと思いますが、毎年たいへん盛り上がっておりますので、是非ご取材ください。

## 【 質疑応答 】

### 〔アンテナショップで「チャレンジ商品」販売開始〕

**記者** 「チャレンジ商品」の件ですが、(販売者等は)どのように選定されていますか。

**広報広聴課長** 担当課から後程回答します。

### 〔教育委員会委員の公募〕

**記者** 教育委員の公募についてですが、今回からなぜ公募したのですか。

**市長** 公募は前回からです。前回 8 名にした時、2 名は公募しました。今回は、その内 1 名を公募します。

**記者** 報酬額は、「原則」としているのはどういう意味ですか。

**担当課長** 1 時間 5 千円という時間給を払う場合があります。例えば研修や調査などで、日額 29,000 円以外を払う場合があるので原則と表記しました。

**市長** 教育委員として議論して頂くときは 29,000 円です。

**担当課長** 他に教科書採択で、自宅で調査して頂くような場合に時間給を支払います。

**記者** 元々時間給の規定があるのですか。

**担当課長** 定めています。

**市長** 教科書の採択は、沢山の教科について長時間に渡る大変な業務でして、これらの特別な業務については時間給の規定があるということです。日額の 29,000 円については、前市長の時に行政改革委員会からの月額から日額にすることが合理的だという議論を踏まえたものです。

**記者** 先日(住民監査請求に対する)監査結果が出ましたが、そのことについてどう思われますか。

**市長** 当然のことであると思います。住民監査請求されること自体理解し難いです。

**記者** 日額 29,000 円という額が高いということですが、見直すつもりはないということですか。

**市長** 一日で長時間議論、業務して頂くときも、短い時間のときもありますので、短い部分だけを捉えて監査請求をされていることは意味のないことだと思っております。市イベント等に出て頂くことについても、委員の方も大変忙しいこともあり、成人式や市民体育祭など、特に重要なもののみ出席頂くよう、私が市長に就任してから厳選して減らしています。他の自治体との比較で 29,000 円の単価がどうこうという議論はあると思いますが、当市の教育委員には、他市以上に熱心に取り組んで頂いており、単価をすぐにも見直すということは考えていません。

**記者** 他の自治体では 3 時間以上だと満額支払い、それ以下だと減額するというのを併用しているところもありますが。

**市長** そういう方法も検討する余地はあると思います。運用の問題もありますし、今のやり方が合理的であると考えておりますが、より良いやり方があれば検討したいと思っております。

〔その他〕

**記者** リニア誘致のことでお伺いしたいのですが、今日奈良市の仲川市長が知事に要望書を出され、先日は、中南和の自治体が大和郡山市にということで知事に提言を出されました。生駒市もリニアの駅で手を挙げておられるので、現時点でのリニアの駅に対して市長はどのような見解をお持ちかということと、今後県に対して要望を出す予定はあるかということをお聞きします。

**市長** 現在もリニア駅誘致に手を挙げていることに変わりありません。ただ、高山地区第2工区をどのように開発整備していくのかということと連動していく部分がありますので、それをしっかり考えながらと思っております。最終的にはJR東海が決めることだと認識しておりますし、その中で高山第2工区の整備も含めて、関係者への働きかけもしっかりやっていきたいと思っております。

**記者** 県に対してはありますか。

**市長** 県には高山地区第2工区を含めての相談、お願い事はあると思っておりますが、現時点では考えていません。

(了)